

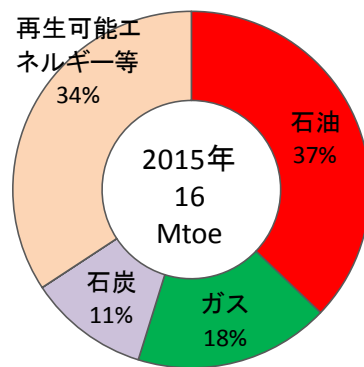
## 2-8 デンマーク

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 16 百万 toe (日本の 0.04 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.83toe (日本の約 0.82 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 98%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 34.5 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の約 2.9%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 6.12CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の約 65.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 9.6 年、天然ガス 6.7 年

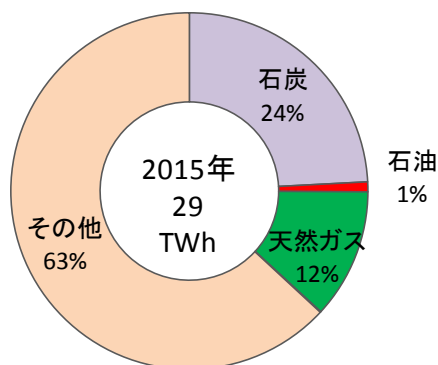
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Denmark

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Denmark

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- デンマークのエネルギー政策は、エネルギー・電力・気候省 (Energi-, Forsynings- og Klimaministeriet) 下のエネルギー庁 (Energistyrelsen) が所管し、2016年12月現在のエネルギー・電力・気候大臣は、Christian Lilleholt 氏である。

### (2) 基本政策

- 「Energy Strategy 2050」(2011年2月発表) では、2050年までに、石油・天然ガスなどの化石燃料を使用せず再生可能エネルギーで全需要を賄うことを目標としている。
- 「ACCELERATING GREEN ENERGY TOWARDS 2020」(2012年3月発表) では、2020年までに、①最終エネルギー消費量の35%を再生可能エネルギーで賄う、②電力供給の50%を風力で賄う、③エネルギー消費量を2010年比7.6%削減、④温室効果ガス排出量を1990年比34%削減、の4点の目標達成を目指している。

### (3) 最近の動向

- 2015年12月、デンマーク政府が実施した国民投票で、EUとの警察協力などに関わる司法内務分野の連携拡大が否決された。政府はテロや難民危機を受けて賛成を求めていたが反対が過半数を占め、国民に広がる反EUの機運の高まりを改めて浮き彫りにした。
- 2016年3月、デンマークのガスTSOである Energinet. dk 社と、ポーランドのガスTSOである GAZ-SYSTEM 社は、両国のガス輸送システムの接続(通称 Baltic Pipe project) に関するFSを2016年末までに完了する予定であると発表した。
- 2016年6月、デンマーク電力大手の DONG Energy が NASDAQ Copenhagen 市場に上場した。上場時の時価総額は DKK982 億(約\$150 億)。同社は電力からガス事業、石油開発まで手がける総合エネルギー企業で世界最大手の洋上風力発電事業者。デンマーク政府が同社株式の5割強を保有し、上場後も過半を握る。同社は投資の大半を洋上風力に振り向け、2020年までに洋上風力の設備容量を6,500MWまで拡大する方針。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016年3月、Pia Kjaersgaard デンマーク王国議長が安倍首相を表敬訪問。両国間における再生可能エネルギー・省エネルギーなどでの協力や、日EU経済連携協定(EPA)の早期締結が重要である点で一致した。
- 2016年7月、三菱重工業とデンマークの Vestas 社の合弁により2014年4月に発足した洋上風力発電設備専門の新会社「MHI Vestas Offshore Wind」社が、スウェーデン国営の総合エネルギー会社 Vattenfall 社から、世界最大出力8MW級の洋上風力発電設備を49基受注したと発表した。Vattenfall 社がデンマークで計画する出力406MW級の Horns Reef 3 洋上風力発電プロジェクト向けで、据付開始は2018年の予定。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Denmark

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		16 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.83 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.05 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		98 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2014年)		34.5 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量(2014年)		6.12 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	11 %
	石油	37 %
	天然ガス	18 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	34 %
(8) エネルギーの輸入依存度		2 %
(9) 石油の輸入依存度		-33 %
(10) 輸入原油の中東依存度		0.0 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ノルウェー
	第2位	ナイジェリア
	第3位	英国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA